

由利本荘市立東由利中学校



だいやま 台 山

【学校教育目標】
 清らかにたくましく
 学校だより
 NO19
 令和6年7月24日(水)



明日からいよいよ32日間の夏休みに入ります。4月から48人で授業や行事、部活動など、あらゆる場面で真剣に取り組み、東中生の勢いや個々の良さや持ち味を感じることができました。そして、これまで大きな事故など大過なく夏休みを迎えられることに安堵しています。これも、生徒1人1人が安全や健康に留意して過ごし、また保護者や地域の皆様のご支援やご協力があったからこそと感謝申し上げます。

明日からの長い夏休みも、まずは安全で健康的な毎日にしてほしいと思います。

そして、約1ヶ月間、自身の計画に委ねられるこの期間を、見通しをもって、計画的に進められるように努めてください。夏休みは心身ともにリフレッシュするのはもちろんですが、夏休みの過ごし方が、良くも悪くも夏休み明けに大きく影響します。自分の計画に沿った充実した休みを送れたなら、そこで得た自信や達成感が次の活動や今後につながる経験になるはず。これまで、何度も夏休みを経験してきている中学生なら、およそシミュレーションできるはず。例えば、規則正しい生活や学習習慣の確立、体力づくりや家庭での役割など、継続して成し遂げることもいいかもしれません。また、せっかくのまとまった休みですので、普段はやれないことや新しいことに挑戦してみるのもいいでしょう。夏休み中の課題も、やるからには、自分の興味や好きなことを生かした取組など面白いと思います。

東中生が身に付けたい力の「挑戦する力」「継続する力」を意識した休みとし、また休み明けに元気に会えることを楽しみにしています。



Miss Sophie, Thank you very much until now!



これまでALTとして長く英語の指導をしていただきましたソフィー・****先生が、この度、アメリカに帰られることになりました。

ソフィー先生には、英語の授業で、楽しく、ネイティブな発音を教えてもらい、言葉だけではなく、英語の文化にも触れることができました。美しい本物の英語を聞けることに憧れをもって、一緒に学習できることを楽しみにしていた人も多いと思います。また、会議室前廊下には、趣向を凝らした英語コーナーの掲示を担当くださり、楽しみながら学んだり、シールを貼ったりした人も多いはず。です。

東由利中学校に来て2年間、ソフィー先生も随分と日本語を勉強し、上達したであろうことが分かります。皆さんにも漢字も交えてメッセージを書いてくれました。アメリカに帰ってから、今度は向こうで先生になるためにまた勉強を頑張られるそうです。ぜひ、健康に留意され、元気に過ごしていただきたいと思います。そして、機会があったらぜひまた東由利中学校に遊びに来てください。今まで本当にありがとうございました。



Miss **** Sophie

生徒達と先生方に会えないのが悲しいけど、家に持ち帰れるいい思い出がたくさんあります。私を東由利中に歓迎してくれて、いつも私と英語を話してくれて、ありがとうございまして。みなさんのことが恋しくなります。Thank you for everything!





夏休み前集会(7/24) 生徒発表より



1年 志村 **

制服に袖を通し、少し大人びた気分で希望坂を初めてのぼった日から、あっという間に三ヶ月が過ぎました。はじめは、「これからどんな学校生活になるのかな」、そんな期待と不安でいっぱいでしたが、優しく接して下さる先生方や先輩方のおかげで、少しずつ学校生活に慣れていくことができました。部活動では、少人数ながらも先輩方と一緒に練習に励むことができました。

しかし、その一方でうまくいかないことがありました。それは、勉強と部活動の両立です。入学して最初に驚いたのは、中学校での学習内容の難しさです。次第に難しくなる勉強に、「これが中学校の勉強なのか」と痛感する毎日。そう思っているうちに、総体や前期期末テストの日が近づいてきました。やらないといけないと分かっているのに、いざとなると家でダラダラしてしまうことが多く、計画を調整しながら学習をすることができませんでした。

いずれは、私たち一年生も二年生になります。私は、自分を甘やかす二年生ではなく、勉強と部活動を両立させ、「後輩の鑑」となって、頼りにしてもらえる先輩になりたいです。

そのために、夏休み中は、計画的に学習すること、規則正しい生活を送ることの二つを頑張りたいです。特に社会は、小学生の頃から苦手意識がありましたが、できないことをそのままにせず、ノートを有効活用して復習していきたいです。いつもは、これくらいやればいいやという甘えをもっていたのですが、ノートの空いているところに少しでもできることがないか考えていくことを心がけていこうと思います。

こうした意識は、夏休みに限らず、二学期以降も継続させていきたいです。規則正しい生活を送ることは、気持ちを切り替える力を高めることにつながります。気持ちを切り替える力は、学習だけでなく、人との関わりや自分の心の健康を保つために大切なことです。今の自分にできていないことが、いずれはできるように頑張っていきたいです。

「一笑懸命」。私たちの学級のスローガンです。「一笑」の「ショウ」は、「笑う」と書きます。一人一人が何事も楽しんで、熱心に取り組める学級になるよう、私もその一員としてどんなことにも前向きに、諦めず取り組んでいきたいです。

2年 高橋 **

明日から待ちに待った夏休みが始まります。そこで、二年生になってから今までの学習面や生活面について、最後には夏休みの抱負を話したいと思います。

まず、学習面についてです。一年生から二年生になり、内容のレベルがグンと高くなりました。前期中間テストは、得意な教科は点数をとれましたが、苦手な教科はあまり点数を取れませんでした。一年生から課題にしていた「テストの点数に偏りがある」ことをまだ克服できていませんでした。夏休み中の勉強が大切だと考えました。課題をいち早く克服するためにも、苦手な教科を繰り返し練習したり、分かりにくいところは友達や先生に聞いたりなど、色々工夫を凝らして夏休み中の勉強に励みたいです。

次に、生活面についてです。生徒会活動について話します。今年の春の生徒総会で、僕は司会を担当しました。秋の生徒総会でも司会を経験しましたが、全員の様子からスムーズな進行が難しく感じま

した。自分は経験するのが一番大切だと思いますが、日々の生活から、周りの状況を見て判断したり、行動したりすることも大切だと思います。それは、普段の生活でこれらを意識すれば、自然と体に身に付いて、いざとなったときに役立つと思ったからです。

最後に夏休みの抱負を話したいと思います。夏休みが明けるとすぐに休み明けテストがあるので、苦手な教科も高い点数を取れるように、夏のワークなどを繰り返し勉強したいです。

そして、何より頑張りたいのが、「部活動」です。昨年秋から岩城中との合同チームになり、度々試合に出させてもらいましたが、大きな二つの課題が見つかりました。まず一つ目が「変化球に対応できない」ことです。僕は特に内側から入ってくる変化球への対応がとても苦手なので、普通のバッティング練習で少しずつ克服していきたいです。二つ目は「捕球面」についてです。今までしてきたエラーの大半が捕球でのエラーなので、練習では自分からノックを受けて、捕球でのエラーを改善したいです。

これらの「学習面」と「部活面」の目標を意識して夏休みを過ごし、どちらの面でも自分が納得するような成績を残したいです。

3年 小野 **

最上級生として僕が夏休み前に頑張ったことを3つ話します。まずは体育祭への取組です。僕は赤組の団長としてチームを引っ張りました。3年生が中心となって練習を進めることができ、どうすればもっと良くなるのか、もっと後輩に伝わりやすくなるのかを考えたことも大きな経験になりました。本番では場を盛り上げたり、競技に集中したりして自然に楽しい雰囲気を作ることができていました。3年生にとっては最後となる体育祭を大成功で終わらせることができ嬉しかったです。

2つ目は先日の意見交流会です。意見交流会では小学生や大人の方たちと意見を出し合い、地元を人気スポットにできないかと考えました。中学生代表として意見をたくさん出したり、まとめたりすることを頑張りました。たくさん意見を出し合うことができました。

最後は普段の授業への取組です。3年生になってからはとくに発表する人や機会が増えていきます。たくさん増えました。授業でこそ3年生が1・2年生の手本となるよう頑張っていきたいです。

明日から約1ヶ月の長い休みが始まります。3年生はこの機会に1・2年生の学習内容を復習していきたいと思います。毎日決めた時間必ず勉強することと、そのために規則正しい生活習慣を送ることを頑張りたいと思います。

生徒会企画のレクリエーション開催

生徒会が、意見箱に寄せられた生徒の案をもとに、夏休み前にレクリエーションを企画してくれました。テレビでもおなじみの『逃走中』の校内バージョンです。放課後の30分間を使い、体育館で生徒会総務がルールや注意事項を説明した後、一斉に逃走を開始しました。

ハンターから捕まった生徒は、体育館に拘束されるものの、仲間のタッチで解放することができます。短い時間ではありましたが、しばし追われる恐怖を味わいながら、必至で逃げたり隠れたりして夏休み目前、楽しいひと時を過ごしました。

